

教職員公募

[ホーム](#) > [教職員公募](#)

東京大学大学院理学系研究科附属クォーク・核物理研究機構 助教 募集要項

1 職名及び人数

助教（常勤） 1名

2 採用予定日

決定後できるだけ早い時期

3 契約期間

期間の定めなし

4 試用期間

採用された日から6ヶ月間

5 就業場所

東京大学大学院理学系研究科（東京都文京区本郷7-3-1）

（変更の範囲）本学の指定する場所（配置換え又は出向を意に反して命じられることは原則ない。詳細は東京大学教員の就業に関する規程第4条による。）

6 所属

東京大学大学院理学系研究科附属クォーク・核物理研究機構

7 専門分野

原子核物理学実験

8 業務内容

クォーク・核物理研究機構は、物理学専攻および原子核科学研究センターとの協力のもと、クォークから原子核に至る原子核物理学分野の最先端研究を推進し、国際共同研究のハブとなることを目指している。令和8年度には、「国際量子物理ネットワーク推進部門」の中に、米国における国際共同研究を戦略的に推進するため「海外拠点室」を設置し、Brookhaven National Laboratory（BNL）および Thomas Jefferson National Accelerator Facility（JLab）に分室を設ける。また、EICを契機として先端検出器・データ収集・計算基盤技術の研究開発を推進するため「先端技術開発室」を設置し、半導体センサー、先端DAQ、AI・高性能計算技術等の基礎開発から応用展開までを一体的に推進していく。さらに、同推進部門内に国際共同研究の戦略的展開、国内外研究機関との連携調整、研究資源の有効活用、研究成果の発信・展開等を担う「国際研究展開室」を設置する。

今回公募する助教1名は、本推進部門における最前線の実働部隊として、主として「先端技術開発室」に所属し、EIC（Electron-Ion Collider）計画における物理研究や測定器開発を実験現場にて先導する役割を担う。具体的には、次世代原子核物理実験に不可欠となる先端検出器（AC-LGAD、MAPS、ZDC等）の開

発・実働テスト、システム設計、ストリーミングDAQや大規模計算機基盤の構築・運用、およびそれらに伴うシミュレーションや物理解析などの領域において、自ら手を動かして研究開発を強力に推進することが求められる。また、「海外拠点室」とも密接に連携し、海外拠点（BNL/JLab）を活用した現地での共同実験や統合試験、国内外の大学・研究機関との技術的・物理的な連携調整など、国際共同研究の現場におけるアクティブな中核メンバーとしての貢献が期待される。さらに、次世代を担う研究者・人材の育成にも積極的に取り組むことを期待する。

（変更の範囲）配置換、兼務及び出向を命じることがある（意に反して命じられることは原則ない。詳細は東京大学教員の就業に関する規程第4条による。）

9 就業時間

専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分勤務したものとみなされる。

10 休日・休暇

土・日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

年次有給休暇、特別休暇 等

11 賃金等

俸給：年俸制を適用し、資格、能力、経験等に応じて決定する。

諸手当：通勤手当（支給要件を満たした場合、原則月額55,000円まで）の他、本学の定めるところによる。

12 加入保険

文部科学省共済組合、雇用保険に加入。

13 応募資格

博士の学位を有する者または着任までに取得見込みの者。職務遂行に必要なレベルの日本語コミュニケーション能力を有することが望ましい。

14 提出書類

1）履歴書（学歴、職歴、写真を含んでいれば様式は自由とする。必要に応じて、下記フォーマットを使用してもよい。）

<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html> 

2）研究業績リスト（主要論文3篇以内を明記し、原著論文、総説論文、著書、国際会議招待講演、受賞歴、外部研究資金獲得実績等に適切に分類すること）

3）主要論文3編のpdfファイル

4）これまでの研究教育実績の概要（A4版2ページ程度）

5）着任した場合の研究計画および教育への抱負（A4版2ページ程度）

6）推薦書1通

7）上記推薦者とは別に所見を伺える方1名の氏名および連絡先

8）学生に対するセクハラ・性暴力等を原因とする過去の刑事罰、行政処分及び懲戒処分にかかる申告書（下記より様式をダウンロードすること。）

<https://drive.google.com/file/d/1OKY0FexvU5jc2vbLdHM1oY5r9lOmm1NZ/view> 

15 提出方法

応募される場合は、まずその旨を jyokyo-call-Q2605@qnsi.s.u-tokyo.ac.jp までご連絡ください。件名は「QNSI助教応募(Q2605)」としてください。折り返し、提出書類アップロード用の受け取りフォルダのURL情報をお送りします。14.の6）以外の提出書類をまとめて一つのpdfファイルとし、そのURLにアップロードしてください。こちらで受け取った後に確認の返信を差し上げますので、3日以内に確認のメールが届かない場合は、必ずお問い合わせ下さい。ただし、書類6）の推薦書だけは件名に「XX氏に関する推薦書」(XXには申請者の名前を入れる)として推薦者が jyokyo-call-Q2605@qnsi.s.u-tokyo.ac.jp に直接メールするようにしてください。

16 応募締切

2026年7月31日(金)必着

17 問い合わせ先

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学 大学院理学系研究科 クォーク・核物理研究 機構長 中村 哲

Email: director@qnsi.s.u-tokyo.ac.jp

18 募集者名称

国立大学法人東京大学

19 受動喫煙防止措置の状況

敷地内禁煙（屋外に喫煙場所あり）

20 その他

■取得した個人情報は、本人事選考以外の目的には利用いたしません。

■東京大学では、男女共同参画を積極的に推進しています。詳しくは <https://www.s.u-tokyo.ac.jp/ja/overview/gender/promotion.html> をご覧ください。

■外為法等の定めにより、採用時点で、海外との兼業や、外国政府等からの多額の収入がある場合、研究上の技術の共有が制限され、本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性があります。従って、兼業等については、本学における研究上の技術の共有に支障のない範囲に留める必要がありますので、予めご承知をお願いします。

公募	>
アクセス	>
お問い合わせ	>
撮影・取材について	>
ポリシー	>
サイトマップ	>

- News +
- 理学系について +
- 研究 +
- 入学案内 +
- 教育 +
- 国際 +
- 支援 +
- 卒業生・修了生 +
- 寄付のご案内 +
- 社会貢献

- 公募 | アクセス | お問い合わせ
- 撮影・取材について | ポリシー | サイトマップ

